

表現のフシギ展 第2回

FENICE SACCAY | 主催 | フェニーチェ堺 (公益財団法人堺市文化振興財団)

だーれが描いた？ なーにを描いた？

HYOGEN NO FUSHIGITEN PART2 2026

「タイトル不明」吉田陸人 (やまなみ工房)



2026 / SEP

9月16日 水 — 30日 水

入場
無料

フェニーチェ堺 交流・創作ギャラリー

入場 9:00-20:00

最終入場 19:30

※9月24日(木)は休館

特別
企画

映画「地蔵とリビドー」上映会&トークセッション/小ホール: 自由席/入場無料 (要事前申込)

9月25日 金 — **上映** 14:00-15:10 (開場 13:30) **トークセッション** 15:20-16:00

ゲスト▶ 山下完和 (やまなみ工房 施設長) × アサダワタル (場をつくる人 / アーティスト・文筆家)

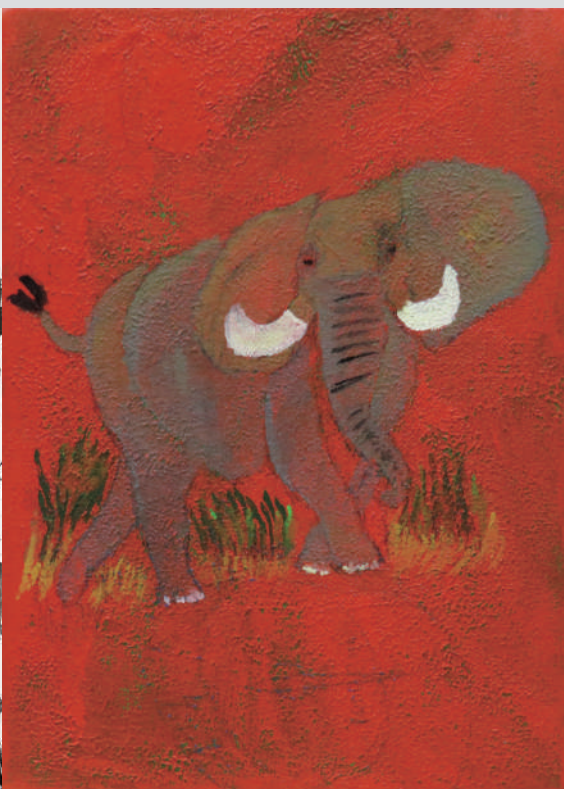
展示・上映についてのお問い合わせ フェニーチェ堺 072-223-1000 (9:00-20:00) 休館日: 第1・3月曜 (祝日の場合は翌平日)



詳細はこちら

こんなにも多様な“世界の見え方” だから人って アートっておもしろい

国内外から注目を集める「やまなみ工房」「たんぼぼの家アートセンター HANA」、そして地元・堺「ユウの家」から、障がいのある人が創作した Amazing な作品約 20 点がやってくる！



左：「男の人」岡元俊雄（やまなみ工房） 中央：「夕焼けに照らされるゾウ」辻 健一（ユウの家） 右上：「アカイスイカ オレンジ」青木 優（たんぼぼの家アートセンター HANA）

前回の「表現のフシギ展」の様子

アートから共生社会を考える

共生社会とは性別や国籍の違い、障がいの有無にかかわらず、多様な人々が対等な立場でお互いを尊重し、支え合って共に生きていく社会のこととされています。フェニーチェ堺はその第一歩として、人々がお互いに関心を持ち、理解を進められる機会があってほしいと考えました。「表現のフシギ展」はアートを入口として知的・発達障がいのある方の個性や特徴に触れ、似ているところや違っている点をフラットに感じ、考えられる場でありたいと思います。願わくば鑑賞される皆さまには、このようなアート作品がどのようにして生まれ、社会との接点を持つのか、その営みにまで思いをはせていただけたら幸いです。



©PR-y

特別企画

映画「地蔵とリビドー」上映会&トークセッション/小ホール：自由席/入場無料（要事前申込）

9月25日金 ―― **上映** 14:00-15:10（開場 13:30） **トークセッション** 15:20-16:00

ゲスト▶ 山下完和（やまなみ工房 施設長）× アサダワタル（場をつくる人 / アーティスト・文筆家）

独創的なアート作品を生み出し続け、欧米のアート市場を中心に世界的な注目を集める障がい者施設「やまなみ工房」。アートジャーナリストや美術関係者へのインタビューを織り交ぜながら、知的障がいや精神疾患で通所する作者本人が語る創作への衝動や工房の日常が包み隠さず描かれるドキュメンタリー映像。（2018年/62分）

申込はこちら



関連公演 知的・発達障がい児（者）にむけての劇場体験プログラム 劇場って楽しい!! 2026 in フェニーチェ堺

2026

9/26(土)

公演 14:00 - 15:00 開場 13:00 フェニーチェ堺 大ホール

詳細はこちら



お問い合わせ フェニーチェ堺 072-223-1000 (9:00-20:00) 休館日：第1・3月曜（祝日の場合は翌平日）

アクセス 〒590-0061 堺市堺区翁橋町2-1-1 南海高野線 なんば～堺東約10分／堺東駅から徒歩8分

主催 | フェニーチェ堺（公益財団法人堺市文化振興財団）
協力 | 社会福祉法人やまなみ会、一般財団法人たんぼぼの家、社会福祉法人わたぼうしの会、社会福祉法人ユウの家
※やむを得ない事情により展示内容等が変更となる場合があります。

